

令和8年度 横浜市川島地域ケアプラザPDCAシート\_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

地域の現状

地域に積極的に向いてケアプラザの周知をしてきた効果もあり、地域からの相談やお声掛けが増えています。その結果、連携できる関係機関も増えています。その中で地域の高齢化・担い手不足・少子化に伴う課題など、具体的な困りごとが見えてきています。

今後の方向性

引き続き積極的に地域に向き、関係機関と連携し具体的な住民課題を住民とともに検討し支援につなげていきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症カフェ「オレンジハニー」を年間を通じて開催します。参加者・ボランティアとして共に農作業や会食に関わる場をつくることで、認知症を身近に感じたり、認知症への理解につなげます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ケアプラザだけでなく、ケアプラザから離れた地域にも出向き、健康意識の啓発につなげます。具体的には、3地区での健康測定会を保健活動推進員と協力体制を図りながら継続開催します。 新たに保土ヶ谷区医師会・保土ヶ谷区薬剤師会とも連携し、より身近な健康相談が出来る体制を整備します。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4月から住民の要望で新たに開始した移動販売の動向を見守るだけでなく、地域住民が必要とする居場所づくりを自治会とともに検討し支援します。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

# 令和8年度横浜市川島地域ケアプラザ事業計画書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当地域全域に積極的に出向き、相談機能の周知や地域支援を行う。</li> <li>・地域包括支援センターでのケアマネジャー選定相談や、居宅介護支援事業所のサービス事業所選定では、様々な選択肢があることを分かりやすく情報提供をする。ご本人・家族が自主的に選択できるように作成した媒体を利用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護方針を館内に提示し、管理責任者を明確にし、施設利用者に周知する。</li> <li>・個人情報保護に関して年1回以上の研修を実施する。</li> <li>・行政からの通知や報告を適宜職員に伝え、個人情報の慎重な取り扱いの啓発を継続して行う。</li> </ul>
実績		

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者本人の意欲を引き出し、地域で自立した生活を送ることを目指し、介護予防ケアマネジメントを実践する。</li> <li>・委託先の居宅介護支援事業所が、適切な介護予防ケアマネジメントが出来るよう支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者のニーズをしっかりと受け止め、その人らしい生活が出来る支援の実施する。</li> <li>・地域包括支援センターと連携し、困難事例に対しても適切な支援を実施する。</li> <li>・地域医療機関との連携の充実を図る。</li> <li>・担当地域の情報収集をし、適切な情報提供を実施する。</li> </ul>
利用料金	<b>【サービスに係る費用】</b> 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	<b>【サービスに係る費用】</b> 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	<b>【その他料金】</b>	<b>【その他料金】</b>
職員体制	地域包括支援センター職員3名 プランナー1名	常勤職員2名 パート職員1名
契約者数		

## 3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標			
実施体制	<b>【実施日数】</b> <b>【提供時間】</b> <b>【定員】</b>	<b>【実施日数】</b> <b>【提供時間】</b> <b>【定員】</b>	<b>【実施日数】</b> <b>【提供時間】</b> <b>【定員】</b>
	<b>【サービスに係る費用】</b> 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	<b>【サービスに係る費用】</b> 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	<b>【サービスに係る費用】</b> 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	<b>【その他料金】</b>	<b>【その他料金】</b>	<b>【その他料金】</b>
職員体制			
契約者数等	<b>【延べ利用者数】</b> <b>【契約者数】</b>	<b>【延べ利用者数】</b> <b>【契約者数】</b>	<b>【延べ利用者数】</b> <b>【契約者数】</b>

令和8年度「横浜市川島地域ケアプラザ」  
収支予算書（一般会計）＜（参考）地域活動交流＞

（単位：円）

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	22,418,619	0	22,418,619	0	22,418,619	横浜市より
内 受領額	22,418,619		22,418,619		22,418,619	
内 戻入額					0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
内 印刷代			0		0	
内 自動販売機手数料			0		0	
内 その他			0		0	
その他			0		0	
収入合計	22,418,619	0	22,418,619	0	22,418,619	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,844,869	0	11,844,869	0	11,844,869	法人本部経費は含まない
内 本俸	6,974,869		6,974,869		6,974,869	
内 社会保険料	1,110,000		1,110,000		1,110,000	
内 手当計	1,490,000		1,490,000		1,490,000	
内 健康診断費	100,000		100,000		100,000	
内 勤労者福祉共済掛金	1,460,000		1,460,000		1,460,000	
内 退職給付引当金繰入額	380,000		380,000		380,000	
内 その他	330,000		330,000		330,000	
事務費	5,414,750	0	5,414,750	0	5,414,750	法人本部経費は含まない
内 旅費	3,000		3,000		3,000	交通費（電車・バス等）・ガソリン代
内 消耗品費	2,000,000		2,000,000		2,000,000	事務用品・コピー機カウンター代・リサイクルトナー・封筒
内 会議随時費	0		0		0	なし
内 印刷製本費	500,000		500,000		500,000	なし
内 通信費	1,052,000		1,052,000		1,052,000	切手代・はがき代・年賀状・電話料金
内 使用料及び賃借料	21,120	0	21,120	0	21,120	
内 内 自販機目的外使用料（横浜市への支	21,120		21,120		21,120	自動販売機使用料
内 内 その他	0		0		0	
内 備品購入費	100,000		100,000		100,000	【地交】多機能電話機1台・
内 図書購入費	0		0		0	なし
内 施設賠償責任保険	22,000		22,000		22,000	保険料
内 職員等研修費	10,000		10,000		10,000	研修費・研修交通費・研修駐車場代
内 振込手数料	500		500		500	振込手数料
内 リース料	45,000		45,000		45,000	マットリース・AEDリース
内 手数料	7,600		7,600		7,600	手数料
内 地域協力費	100,000		100,000		100,000	地域新年会会費・地域行事祝い金
内 公租公課	132,780	0	132,780	0	132,780	印紙代他
内 事業所税			0		0	
内 消費税			0		0	
内 印紙税			0		0	
内 その他			0		0	
その他	1,420,750		1,420,750		1,420,750	電柱広告・社会福祉事業総合保険料・賠償責任保険料・機密文章溶解処理・車輛点検・地図費用・横浜ケーブルTV・自動車保険
事業費	850,000	0	850,000	0	850,000	法人本部経費は含まない
内 自主企画事業費（指定管理料充当の自主企画事業）	264,000		264,000		264,000	
内 その他	586,000		586,000		586,000	
管理費	3,835,000	0	3,835,000	0	3,835,000	法人本部経費は含まない
内 光熱水費	2,782,400		2,782,400		2,782,400	
内 清掃費	400,500		400,500		400,500	
内 機械警備費	395,000		395,000		395,000	
内 設備保全費	257,100	0	257,100	0	257,100	
内 空調衛生設備保守	35,500		35,500		35,500	
内 消防設備保守	130,000		130,000		130,000	
内 電気設備保守	35,600		35,600		35,600	
内 害虫駆除清掃保守	35,500		35,500		35,500	
内 駐車場設備保全費	20,500		20,500		20,500	
内 その他保全費			0		0	
内 共益費			0		0	
内 その他			0		0	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
太陽光パネル保守点検			0		0	
太陽光パネル修繕（追加）			0		0	
その他	0	0	0	0	0	
支出合計	22,418,619	0	22,418,619	0	22,418,619	
差引	0	0	0	0	0	

自主企画事業費 収入	0	0	0	0	0
自主企画事業費 支出	264,000	0	264,000	0	264,000
自主企画事業 収支	△ 264,000	0	△ 264,000	0	△ 264,000

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,120	0	21,120	0	21,120	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 21,120	0	△ 21,120	0	△ 21,120	

※各々項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和8年度「横浜市川島地域ケアプラザ」  
収支予算書（一般会計）＜包括＞

収入の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>指定管理料【包括】</b>	<b>28,914,336</b>	<b>0</b>	<b>28,914,336</b>	<b>0</b>	<b>28,914,336</b>	横浜市より
内 受領額	28,914,336		28,914,336		28,914,336	
戻入額					0	
<b>指定管理料【介護予防】</b>	<b>154,000</b>		<b>154,000</b>		<b>154,000</b>	横浜市より
<b>指定管理料【チームオレンジ】</b>	<b>200,000</b>		<b>200,000</b>		<b>200,000</b>	横浜市より
<b>指定管理料【生活支援】</b>	<b>6,379,820</b>	<b>0</b>	<b>6,379,820</b>	<b>0</b>	<b>6,379,820</b>	横浜市より
内 受領額	6,379,820		6,379,820		6,379,820	
戻入額					0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）【包括】			0		0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）【介護予防】			0		0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）【生活支援】			0		0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）【チームオレンジ】			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
内 印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
<b>収入合計</b>	<b>35,648,156</b>	<b>0</b>	<b>35,648,156</b>	<b>0</b>	<b>35,648,156</b>	

支出の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>28,145,906</b>	<b>0</b>	<b>28,145,906</b>	<b>0</b>	<b>28,145,906</b>	法人本部経費は含まない
内 本俸	12,535,906		12,535,906		12,535,906	
社会保険料	2,800,000		2,800,000		2,800,000	
手当計	5,100,000		5,100,000		5,100,000	
健康診断費	700,000		700,000		700,000	
勤労者福祉共済掛金	3,200,000		3,200,000		3,200,000	
退職給付引当金繰入額	1,180,000		1,180,000		1,180,000	
その他	2,630,000		2,630,000		2,630,000	
<b>事務費</b>	<b>2,461,250</b>	<b>0</b>	<b>2,461,250</b>	<b>0</b>	<b>2,461,250</b>	法人本部経費は含まない
旅費	18,000		18,000		18,000	交通費(電車・バス等)・ガソリン代
消耗品費	426,000		426,000		426,000	事務用品・コピー機カウンター代・リサイクル料
会議随時費	0		0		0	なし
印刷製本費	0		0		0	なし
通信費	534,000		534,000		534,000	切手代・はがき代・年賀状・電話料金
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
内 自販機目的外使用料(横浜市への支出)	0		0		0	自動販売機使用料
戻 入	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	【地交】多機能電話機1台・
図書購入費	5,000		5,000		5,000	なし
施設賠償責任保険	8,000		8,000		8,000	なし
職員等研修費	30,000		30,000		30,000	研修費・研修交通費・研修駐車場代
振込手数料	5,000		5,000		5,000	振込手数料
リース料	22,000		22,000		22,000	マットリース・AEDリース
手数料	80,000		80,000		80,000	なし
地域協力費	16,800		16,800		16,800	地域新年会会費・地域行事祝い金
公租公課	0	0	0	0	0	印紙他
事業所税			0		0	
内 消費税			0		0	
戻 入			0		0	
その他			0		0	
その他	1,316,450		1,316,450		1,316,450	電柱広告・社会福祉事業総合保険料・賠償責任保険料・機密文章溶解処理・車輛点検・地図費用・横浜ケーブルTV・自動車保険
<b>事業費</b>	<b>1,984,000</b>	<b>0</b>	<b>1,984,000</b>	<b>0</b>	<b>1,984,000</b>	法人本部経費は含まない
内 協力医	630,000		630,000		630,000	予算:指定額
自主企画事業費(指定管理料充当の自主企画事業)【包括】	700,000		700,000		700,000	
自主企画事業費(指定管理料充当の自主企画事業)【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主企画事業費(指定管理料充当の自主企画事業)【生活支援】	300,000		300,000		300,000	
自主企画事業費(指定管理料充当の自主企画事業)【チームオレンジ】	200,000		200,000		200,000	
その他			0		0	
<b>管理費</b>	<b>1,931,000</b>	<b>0</b>	<b>1,931,000</b>	<b>0</b>	<b>1,931,000</b>	法人本部経費は含まない
内 光熱水費	1,024,000		1,024,000		1,024,000	
清掃費	135,000		135,000		135,000	
機械警備費	100,000		100,000		100,000	
設備保全費	254,000	0	254,000	0	254,000	
内 空調衛生設備保守	10,000		10,000		10,000	
消防設備保守	37,000		37,000		37,000	
電気設備保守	17,000		17,000		17,000	
害虫駆除清掃保守	75,000		75,000		75,000	
駐車場設備保全費	35,000		35,000		35,000	
その他保全費	80,000		80,000		80,000	
共益費	35,000		35,000		35,000	
その他	383,000		383,000		383,000	
<b>修繕費</b>	<b>126,000</b>	<b>0</b>	<b>126,000</b>	<b>0</b>	<b>126,000</b>	予算:指定額
その他	0	0	0	0	0	法人本部経費は含まない
戻 入			0		0	
<b>支出合計</b>	<b>34,648,156</b>	<b>0</b>	<b>34,648,156</b>	<b>0</b>	<b>34,648,156</b>	
差引	<b>1,000,000</b>	<b>0</b>	<b>1,000,000</b>	<b>0</b>	<b>1,000,000</b>	

自主企画事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主企画事業費 支出	1,354,000	0	1,354,000	0	1,354,000	
自主企画事業 収支	△ 1,354,000	0	△ 1,354,000	0	△ 1,354,000	

管理許可・目的外使用許可に関する収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関する支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関する収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和8年度 地域ケアプラザ収支予算書<介護保険事業分>

施設名:横浜市川島地域ケアプラザ

令和8年4月1日~令和9年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	900		900	1,000		1,000	16,658		16,658			0			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	<b>収入合計(A)</b>	900	0	900	1,000	0	1,000	16,658	0	16,658	0	0	0	0	0	0
支出	人件費			0			0	17,000		17,000			0			0
	事務費			0			0	500		500			0			0
	事業費			0			0	0		0			0			0
	管理費			0			0	150		150			0			0
	その他	900	0	900	1,000	0	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	900		900	1,000		1,000			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	<b>支出合計(B)</b>	900	0	900	1,000	0	1,000	17,650	0	17,650	0	0	0	0	0	0
	<b>収支 (A)-(B)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>-992</b>	<b>0</b>	<b>-992</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和8年度 自主企画事業(指定管理事業)計画書

<p>■ 事業</p> <p>1: 地域活動交流事業 2: 地域包括支援センター運営事業</p> <p>3: 生活支援体制整備事業 4: 共催(1と2) 5: 共催(1と3)</p> <p>6: 共催(2と3) 7: 共催(1と2と3)</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1: 優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2: 福祉保健活動に発展させることを</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1: 高齢者 2: 障害児・者 3: 養育者及び乳幼児</p> <p>4: 子ども・青少年 5: 地域 6: 事業者</p> <p>7: その他</p>
--	---	---

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期
1	ハッスル体操	2012	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	・全身の筋力維持、柔軟性を高め転倒予防 ・シナプソロジーによる脳の活性化、認知症予防 ・地域の方々が交流できる場の提供	1: 高齢者		毎月第1or第3火曜日の月1回 ・全身のストレッチと上下肢の筋力 ・シナプソロジーで脳トレ ・セラバンドやボールを使った体操等
2	あったかサロンぬくぬく	2015	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	くぬぎ台近隣に住んでいる地域住民の交流の場づくり、ボランティア活動の支援、継続支援	1: 高齢者		・毎月第4月曜日 ・談話、ボランティアによる紙芝居口演や演奏鑑賞、レクリエーション
3	男みがき塾プレゼンツ	2020	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	・おおよそ60歳以上の男性を対象に、外出機会をつくる。 ・男性同士の交流を深める機会とし、仲間づくりのきっかけとしてもらう。 ・参加者たちの自主性やボランティアへの関心を高め、地域のボランティア活動団体とのつながりを作る。	1: 高齢者	5	・毎月第1木曜日 ・料理 ・ポッチャ
4	民生委員とケアマネジャー連絡会	2011	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	民生委員児童委員とケアマネジャーの連携構築 ・地域で見守り体制を作る為の意見交換等 ・個別支援が行えるように様々な支援方法について学ぶ	1: 高齢者	5.6	上半期、下半期の2回開催(内容検討) 民生委員と児童委員、ケアマネジャーの連携方法・実務に関わる制度などを学ぶ 7月.3月
5	認知症部会 当事者・介護者支援(社会参加)	2022	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	認知症の理解、認知症関連事業の周知、デイサービスの周知と認知症の方の社会参加	5: 地域		・区民まつりブース
6	川島さくらんぼ	2011	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	ケアマネジャー事業所間連携 ・ケアマネ同士の悩み共有 ・事例検討・意見交換会・情報共有	6: 事業者		・事例検討・意見交換によるケアマネジャーのスキルアップを図る 第三金曜日
7	多職種連携 さくらんぼ 特別企画	2023	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域のケアマネジャー・福祉・介護関係機関多職種との連携、顔の見える関係作り。 ケアマネジメント力の向上につなげる。	6: 事業者		・多職種で関わるときの視点等を理解する
8	成年後見講座	2024	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	成年後見制度の周知や説明を行う自主事業を行うことで地域住民の理解を深める。	1: 高齢者	2.5	行政書士、司法書士、社会福祉士などの専門職が来場者に成年後見制度の説明を行う
9	地域住民向け事業	2024	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	成年後見制度の周知や説明を行地域住民の理解を深める。	5: 地域	1	自治会、サロンに Outreach 成年後見制度、エンディングノート、もしも手帳について説明を行う。
10	メッセンジャー川島in木曜市	2024	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	・川島地域ケアプラザの機能周知 ・介護予防の啓発 ・子育て世代への情報発信 ・地域資源情報の収集 ・くぬぎ台団地エリアの方との顔の見える関係づくり	5: 地域		・広報誌等での情報発信 ・測定等の健康啓発 ・地域住民との交流
11	メッセンジャー川島健康測定会	2024	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	・ケアプラザから遠い地域の住民に向けた健康測定による啓発、ケアプラザ周知 ・保土ヶ谷区医師会と保土ヶ谷区薬剤師会との連携により、地域住民の健康相談会の実施(健康寿命の延伸)	5: 地域		・広報誌等での情報発信 ・測定等の健康啓発 ・地域住民との交流 ・保土ヶ谷区医師会と保土ヶ谷区薬剤師会との連携
12	居宅介護支援事業所冊子作りプロジェクト K	2025	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	・ケアマネジャーを選定する時に、わかりやすい資料をみて本人たちがケアマネジャーを選定することが出来る冊子を作る。 ・居宅介護支援事業所との連携構築	6: 事業者		冊子の具体的内容検討等を行う。 (1/2-3ヶ月) 令和8年度第1部の発行を目指す。

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）	<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを	<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
13	オレンジハニー	2025	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	本人支援の活動として、認知症カフェにて認知症の人や家族の希望や願い又は困りごとを把握し、当事者が継続して地域の中でその人らしく生活を送ることができるような環境づくりを行っていくため。	5：地域		開催日時：5月18日、6月15日、9月29日、12月21日、2月15日、3月1日の月曜日 10:00～12:00 内容：認知症カフェでの歓談や農作業体験
14	支援者向けの健康講座	2024	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域で活動している支援者に対するスキルアップ講座	5：地域	7	保健活動推進員向けに研修を行い、3回目の今回は1年目と2年目を総括した内容となるようにテーマを検討し研修を行っている。
15	ズンバゴールド	2025	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	・介護予防普及啓発事業の一環として、女性参加者の方を対象にズンバの講座を実施し、心肺機能の向上や心身の健康状態に繋げるため。 ・自主化を目指した活動を目標に、地域住民の集いの機会とする。	1：高齢者		実施時期：令和8年4月2日、16日 5月7日、21日、6月4日 事業内容 地域住民向けのズンバ講座を実施する。
16	ほっとホット茶屋	2011	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	・参加者同士の交流を広げる ・地域とのつながり深める ・ボランティア活動発表の場 ・居心地の良い場となるよう補助	1：高齢者		・交流支援を行い1人でも参加しやすい環境 ・ボランティアの発表を参加者で楽しみ応援する ・事業案内や参加者様子を伺う職員配置 ・参加者全員で誕生日を祝う ・参加者同士自由に過ごせる場
17	川島ハーモニードレミ	2011	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	・活動の中で仲間意識育む ・外出の機会 ・発声を楽しみ健康増進へ繋ぐ ・居心地の良い場となるよう補助	1：高齢者		・季節を感じられる選曲 ・音楽クイズで参加者同士交流する休憩時間 ・助け合って会場設営 ・ボランティア活動の場 ・文化祭出演に向けた取り組み
18	川島文化祭	2013	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	・貸室団体活動周知 ・ケアラサ拠点の交流の場機会 ・活動披露による一体感形成	5：地域		・模擬店・地野菜販売・バルーンアート・紙芝居 ・工作・地域コンサート ・撮影スポット等 ・11月29日（日）開催予定
19	福祉学習	2016	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	・福祉への関心高める ・ケアラサ職員等との交流 ・小学校とケアラサ繋がり	4：子ども・青少年		・人権週間内で学年に応じた福祉教育を行う ・学年の福祉教育目標達成の一助となる内容 ・福祉拠点としてのケアラサの周知
20	こども夏休み教室	2014	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	・ものづくりの面白さを知る ・子どもとその保護者に向けたケアラサ周知 ・子どもと地域の交流活動 ・地域の支援者、関係機関との協働	4：子ども・青少年		・科学工作 ・料理
21	室内スポーツポッチャ	2012	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	・障がい者と地域住民の交流 ・無理なくスポーツを楽しむ場 ・ボランティア活動の場 ・障がい者スポーツを知る	5：地域		・気軽に参加可能な雰囲気で開催を行う ・日頃の成果を発揮する場の年度末大会 ・参加者の身体状況把握しサポート
22	ぴーすらんど	2012	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	・友達づくり情報交換を行う場 ・地域の子育て支援情報提供 ・地域で子育て支援体制形成 ・子育て支援者と連携 ・地域住民とのふれあい ・地域の子育て事情の情報収集 ・季節の遊びやイベントの体験機会をつくる ・若い世代に向けたケアラサ周知	4：子ども・青少年	3	・親子同士の交流 ・継続参加で参加者同士の交流を促す ・地域や子育て支援団体からの情報を提供 ・専門支援を必要とする参加者を機関へ繋ぐ ・地域ボランティアによる絵本読み聞かせ ・季節の遊びやイベントの体験
23	健康講座	2012	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	・病気予防、健康意識向上 ・健康情報のニーズを探る ・不安、悩み解消 ・健康づくりとしてウォーキング企画を年3回組み込む	5：地域		「おいしくらす処方箋-今日から始める健康講座-」 ・毎回テーマを考え講師主催者で構成を練る ・資料をスクリーン投影し視覚で確認 ・質疑応答、事後アンケート実施
24	消防署が教えてくれる避難訓練	2015	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	・AED使用法習得 ・職員による誘導訓練	5：地域		・火災想定避難訓練、災害対応訓練 ・AED講習会

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）	<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを	<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
25	ほどがや区民まつりの参加	2008	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	・地域ケアプラザ 周知	5：地域		・ケアプラザ周知 ・地域活動推進
26	川島文化祭作品展	2013	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	・新たなコミュニケーションを形成 ・地域住民の活動を展示 ・貸室利用団体活動周知 ・貸室利用団体の福祉保健意識向上 ・多世代交流のきっかけ	5：地域		・地域の方の作品展示し開館時間内随時観覧 ・出品者からのメッセージ展示による活動周知 ・出品貸室団体による活動実演 ・観覧者にアンケート実施し地域ニーズ把握 ・貸室登録団体、地域福祉施設の参加
27	ほどがや元気村の皆さんに教わるわら細工教室	2014	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	・ものづくりを通じた交流 ・地域のボランティア活動周知	5：地域		・ほどがや元気村指導でわら細工 ・ほどがや元気村の活動をお話し
28	地域支援者交流会	2020	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	・エリア内の地域活動支援者やボランティアがお互いの親睦を図り、今後の活動に向けモチベーションの向上や情報交換を行う場の提供 ・地域支援団体とボランティア、ボランティア団体のマッチングを行い、地域支援団体の活性化、ボランティア及びボランティア団体の活動の場拡大へ繋げる。 ・地域活動支援者にケアプラザの機能・支援について知ってもらう。	1：高齢者		・活動エリアが近い支援者同士で交流、歓談 ・特技をもつボランティアや団体の活動を披露する場を設ける。 ・参加者の今後の活動の要望を伺う。
29	シネマ川島	2015	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	・身近な場所での余暇の場を提供する ・終活、共生社会、障害などテーマのタイトルを選び、地域住民に自件事として考えていただくきっかけをつくる	5：地域		・映画上映 ・事業チラシ配布説明でケアプラザ周知
30	ほっとフレンズ	2009	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	・障がい児に「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。 ・障がい者に理解ある地域のボランティアや学生ボランティアの育成を図る。 ・関係諸学校及び団体との協力関係を深め、障がい児の支援における地域ネットワークの形成に努める。 ・本事業の周知、報告及び地域のボランティア募集等を通じて、地域の方々の障がい福祉に対する理解をより深めていただく機会とする。	2：障害児・者	4.5	内容：ほっとフレンズ実行委員会での共同開催。区内に在住・在学のハンディのある小学生～高校生の子と保護者を対象にダンス体験を実施。
31	かわしまユースボランティアセミナー	2025	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	・中学生、高校生、大学生が地域活動に興味を持ち、地域参加のきっかけとする。 ・参加者が地域の中で、違う学校の友人をつつたり多様な人と出会うきっかけとする。	4：子ども・青少年		内容：学生主体で川島文化祭に出展するブースの内容を企画・当日運営を行う。①オリエンテーション②大学生による講座③企画会議④準備⑤川島文化祭当日
32	かわしま地域活動応援隊	2026	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	川島地域ケアプラザ圏域で活動する自主活動団体の支援を行うことで、歩いていける範囲で人と交流ができる機会づくりを支援する。	1：高齢者	5	団体の活動状況に応じて、支援を行う。
33	ゆるっと健康クラブ	2026	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	・包括支援センターと生活支援体制整備事業の共催事業で運営し、介護予防と通いの場の2点の視点から関わりを行う。 ・移動販売の前にゆるっと健康について知ってもらう機会を設けていく。	1：高齢者	5	・介護予防事業の講師派遣により、フレイル予防4本柱を軸に事業の運営を図っていく。 ・移動販売の前の時間で日常的な生活の中で健康への理解や関心を地域住民にもってもらおう。